

# ヤマドリ

*Symaticus soemmerringii* (Temminck)

## キジ目キジ科

石川県カテゴリー

準絶滅危惧

国カテゴリー

準絶滅危惧

### 選定理由

県内に広く分布するが、近年減少しており、生息環境も悪化している。

### 形態

雄は全長125cm、雌で55cm。雄は尾羽が非常に長く、全身赤褐色で、頭、背など上面の色は濃い。顔は赤い皮膚が露出している。雌は全身褐色で尾羽は短い。

### 国内分布

本州、四国、九州の低山から山地の森林に留鳥として生息する。

### 県内分布

県内の低山から山地の森林に留鳥として生息する。なお本県に分布するのは亜種キタヤマドリ *S.s.scintillans* である。

### 生態

森林にすみ、地上で草の芽や葉、種子や木の実、昆虫などを食べるが、近縁のキジよりは植物食性が強い。繁殖期の雄は翼でドラミングと呼ばれる大きな羽音を立て存在を誇示する。

### 生息地の条件

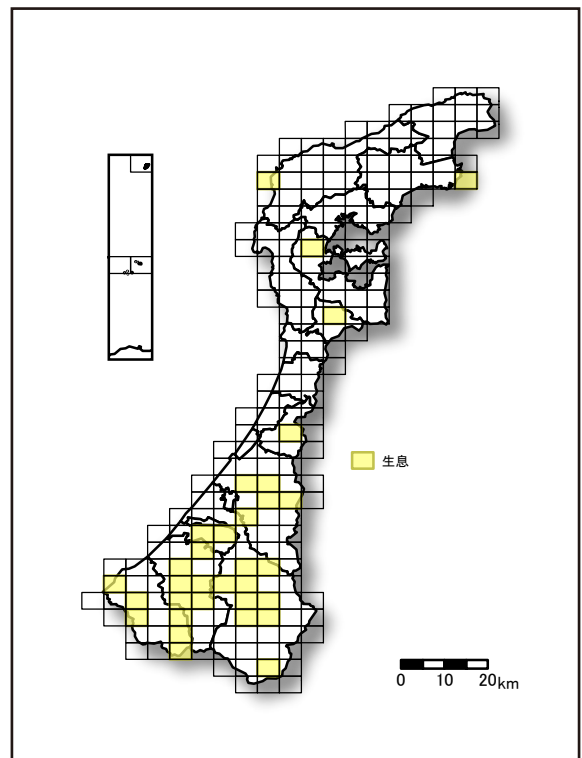
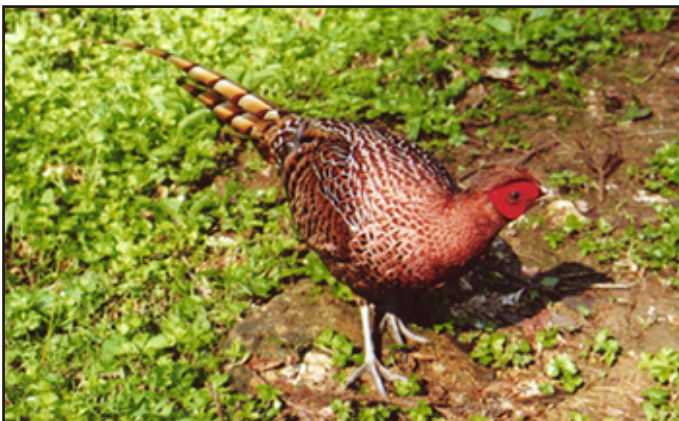
餌となる多様な植物が繁茂する森林。

### 生存の危機

雄に対する狩猟圧、森林伐採や植林による広葉樹林の減少、無秩序な放鳥による亜種交雑の危機などが挙げられる。(A, B, C)

### 特記事項

日本固有種。国カテゴリーは、亜種アカヤマドリ *S.s.soemmerringii* 準絶滅危惧、亜種コシジロヤマドリ *S.s.ijimae* 準絶滅危惧。



県内の分布